

「かんさいほう」を使った<sup>ち</sup>治りょう

はなし  
のお話



くしろこうじんかいきねん病院

## 1. はじめに

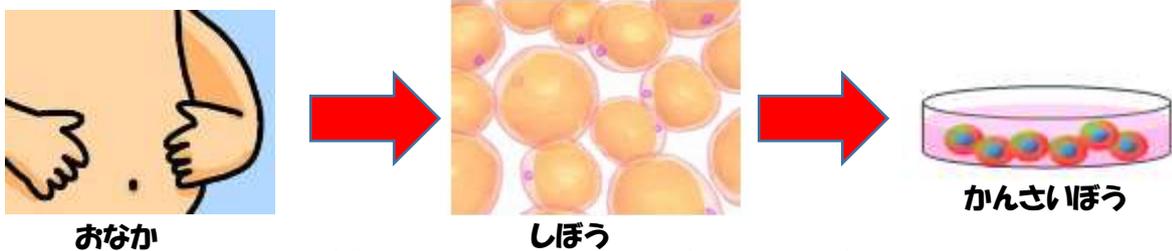
これから「かんさいぼう」を使った治りようのお話をします。

よく聞いて、この治りようを受けたいと思ったら、おとうさん、おかあさんにそのことを言ってください。

わからないことがあれば、どんなことでも聞いてください。

## 2. 「かんさいぼう」とは

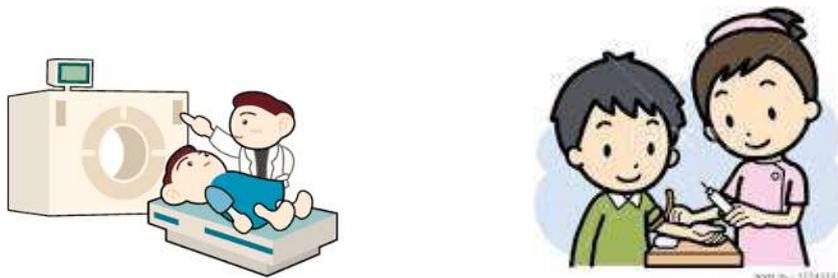
おなかやおしりの“しぼう”には「かんさいぼう」がたくさんあると言われています



「かんさいぼう」が傷ついているところに集まって、悪いところをなおします。この「かんさいぼう」の特徴を生かして治りように使います。

## 3. 治りようを受けられるか検査します

まず、あなたが「かんさいぼうの治療」を受けられるかどうかを検査で調べます。



がんにかかっていたり、感染症にかかっていると「かんさいぼう」の治りようは受けられないので、検査をして調べます。

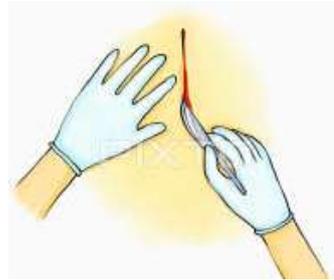
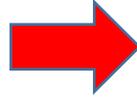
検査がおわって、どちらにもかかっていないことがわかったら、おなかからしぼうをとる手術をします。

## 2. 手術<sup>しゅじゆつ</sup>

お腹<sup>なか</sup>を少しだけ切って、しぼうをとります。



手術<sup>しゅじゆつ</sup>



5cmくらい<sup>き</sup>切ります

痛くないように<sup>いた</sup>ますいをしますが、ちょっとチクツとするかもしれません。痛かったらがまんしないで<sup>お</sup>言ってください。15~30分で<sup>お</sup>終わります。

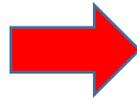
## 3. かんさいぼうのばいよう

「かんさいぼう」をバイキンが入らないための<sup>とくべつ しせつ ぶ</sup>特別な施設で増やします。

「かんさいぼう」を増やす<sup>ふ</sup>ことを「ばいよう」といいます。



かんさいぼう



ばいようの<sup>ようす</sup>様子

いっぱい<sup>ふ</sup>に増えるまで6週間くらいかかります。

## 4. 点てき<sup>てん</sup>前の<sup>けんさ</sup>検査

「かんさいぼう」がいっぱいになったら、点てきでかんさいぼうをあなたの<sup>からだ</sup>体に入れます。その前に<sup>けんさ</sup>検査であなたの<sup>ようす</sup>体の<sup>しら</sup>様子を調べたり、リハビリテーションで<sup>からだ</sup>体のうごきをはかります。



しんでんず



リハビリ

## 5. 点滴<sup>てんてき</sup>

検査<sup>けんさ</sup>がおわったら いよいよ かんさいぼうの点滴<sup>てん</sup>になります。

点滴<sup>てん</sup>は1時間<sup>じかん</sup>くらいでおわります。おわって、1時間<sup>じかん</sup>ほど休んだら  
おきあがって、動<sup>うご</sup>いてかまいません。

点滴<sup>てん</sup>の間<sup>あいだ</sup>は食<sup>た</sup>べたり、飲<sup>の</sup>んだり、トイレに行くことがで  
きません。

\*もし、点滴<sup>てん</sup>のあいだに気持<sup>きも</sup>ちが悪<sup>わる</sup>くなったらがまんし  
ないでそばにいるかごしに、はなしてください。



## 6. リハビリテーション

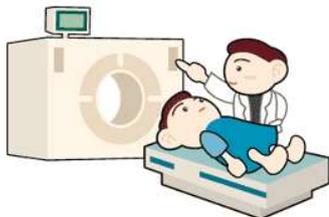
点滴<sup>てん</sup>がおわったら、さらに良<sup>よ</sup>くなるようにリハビリテ  
ーションといって、できなくなったことや、むずかしくな  
っていることが、スムーズにできるようにするための訓練<sup>くんれん</sup>  
をします。



## 7. 定期検査<sup>ていきけんさ</sup>

点滴<sup>てん</sup>してから決<sup>き</sup>まった日<sup>ひ</sup>に検査<sup>けんさ</sup>、リハビリテーション<sup>おこな</sup>を行います。

2週間<sup>しゅうかんご</sup>後<sup>ご</sup>、1ヶ月<sup>つき</sup>、3ヶ月<sup>つき</sup>、6ヶ月<sup>つき</sup>、1年<sup>ねんご</sup>後の病<sup>びょういん</sup>院<sup>しん</sup>からお知らせする日<sup>ひ</sup>にはかならず来  
てください。



\*検査<sup>けんさ</sup>をして、かんさいぼうの治<sup>ち</sup>りようがきいているか、前<sup>まえ</sup>よりも悪<sup>わる</sup>くなったところはな  
いかどうかを調<sup>しら</sup>べます。

## 8. こんなことがあるかもしれません

### <良いこと>

「かんさいぼう」の治りようをすると、痛いところやしびれているところが、良くなる  
かもしれません。

また、動かなかった手や足が動くようになるかもしれません。

### <良くないこと>

「かんさいぼう」の治りようで、おなかが痛くなったり、じんましん（ぶつぶつ）が  
出るかもしれません。

もし、いつもとちがうことがあったら、おうちの人にすぐに言ってください。具合をよ  
くするために、しん察や治りようをします。

## 9. 心配なことは聞いてください

この「かんさいぼう」の治りようを受けるかどうかは、よく考<sup>かんが</sup>えて決<sup>き</sup>めてください。  
また、心配<sup>しんぱい</sup>なことがあったり、あなたの気持<sup>きもち</sup>ちが<sup>か</sup>変わ<sup>か</sup>ったら、教<sup>おし</sup>えてください。先生<sup>せんせい</sup>や  
家族<sup>かぞく</sup>と相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>して、とちゅうでやめることもできます。

この治りようについて分<sup>わ</sup>からないこと、こま<sup>こ</sup>まったこと、心配<sup>しんぱい</sup>なことがあ<sup>あ</sup>れば、聞<sup>き</sup>いてく  
ださい。

### 【担当<sup>たんとう</sup>の先生<sup>せんせい</sup>の名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>と電話<sup>でんわ</sup>番<sup>ばん</sup>号<sup>ごう</sup>】

病 <sup>びょう</sup> 院 <sup>いん</sup> 名 <sup>めい</sup>	釧 <sup>く</sup> 路 <sup>しろ</sup> 孝 <sup>こう</sup> 仁 <sup>じん</sup> 会 <sup>かい</sup> 記 <sup>き</sup> 念 <sup>ねん</sup> 病 <sup>びょう</sup> 院 <sup>いん</sup>
電 <sup>でん</sup> 話 <sup>わ</sup> 番 <sup>ばん</sup> 号 <sup>ごう</sup>	0154-39-1222
先 <sup>せん</sup> 生 <sup>せい</sup> の <sup>の</sup> 名 <sup>な</sup> 前 <sup>まえ</sup>	齋 <sup>さい</sup> 藤 <sup>とう</sup> 孝 <sup>こう</sup> 次 <sup>じ</sup>
担 <sup>たん</sup> 当 <sup>とう</sup> の <sup>の</sup> 人 <sup>ひと</sup>	勇 <sup>いさみ</sup> まゆみ

せつめい しよ  
説明かくにん書

「かんさいぼう」の治りょうについて説明せつめいを聞ききました。

聞いた日 年 月 日

なまえ  
名前： \_\_\_\_\_

せつめい せんせい  
説明した先生

なまえ  
名前： \_\_\_\_\_

せつめい  
説明した人

なまえ  
名前： \_\_\_\_\_